

2011年度

科目名	総合演習Ⅱ				
担当教員	小田 浩伸				
配当	教福2		コード	32091	
開期	通年	講時	水曜日2限	単位数	2
授業テーマ	「特別支援教育の基礎と実践力を身につける」				
目的と概要	特別支援教育は、障害のある子どもの自立や社会参加に向けた主体的な取組を支援するという視点に立ち、子ども一人一人の教育的ニーズを把握し、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善又は克服するため、適切な指導及び必要な支援を行うものです。こうした特別支援教育に関する基礎知識と実践力を身につけるために、支援学校(支援学級)への見学・実習、授業参観、小グループでの研究発表、意見交換・研究協議を中心に進めます。				
成績評価法	平常点(50%)、授業時の発言(20%)、課題研究レポート及びプレゼンテーション(30%)で評価する。				
テキスト	随時プリントを配布する。				
参考書	必要に応じて紹介します				
履修に当たっ ての注意・助言 /準備学習	・授業をやむを得ず欠席する場合は必ず担当教員に連絡すること。 ・講義計画に関連する論文、書物を積極的に読むこと。 ・ディスカッション等の積極的な発言を重視する。				
講義計画					
1.	オリエンテーション	自己紹介、総合演習の進め方等について			
2.	特別支援教育について	障害のある幼児児童生徒の教育（最新の動向）について			
3.	演習・討論・発表（1）	「決める」という動詞キーワードから人権について考える			
4.	演習・討論・発表（2）	「遊ぶ」という動詞キーワードから人権について考える			
5.	演習・討論・発表（3）	「参加する」という動詞キーワードから人権について考える			
6.	特別支援学校の役割、教育内容	視聴覚教材から学ぶ			
7.	特別支援学級について	小学校における特別支援学級について（教育現場から学ぶ）			
8.	通常の学級における特別な支援	教室のできる支援・配慮について			
9.	グループ研究の発表・討議（1）	グループで調べたこと、考えたことを発表し、討論する			
10.	グループ研究の発表・討議（2）	グループで調べたこと、考えたことを発表し、討論する			
11.	「実践アクセス講義」（ゲスト・ティーチャー）	特別支援学級担当教員の実践から学ぶ			
12.	障害のある子どもの指導の実例（1）	知的障害・自閉症の子どもの指導事例を通して			
13.	障害のある子どもの指導の実例（2）	肢体不自由のある子どもの指導事例を通して			
14.	障害のある子どもの指導の実例（3）	LD・ADHD等の発達障害のある子どもの指導事例を通して			
15.	全体の総括（まとめ）				